

元気で長生き応援団

よっこらせ



第 149号 2016年 8月 10日 (水)

発行

NPOライフケア浜松 ☎ 053-426-0691

浜松市南区恩地町 263

(株)LCウェルネス

デイホーム・ここ倶楽部 ☎ 053-427-3244

浜松市南区恩地町 263

十二年前

お名残り惜しいですが、この「よっこらせ」もあと二号(百五十号)で終了します。十二年前の創刊のころの記事を少し紹介します。

まずは「創刊の挨拶」から

『食べるのには困らねど、なーんとなく不安、という人が増えています。このニュースレターは元気で長生きしたい、という人に送るエールです。明るく楽しい生活を高齢者自身の手で、という願いから発行します。』

この発行の初心はどこまで貫いていたでしょうか？読者に判断をお任せします。

創刊号と二号では「沖縄オバア研究会」というすごい名前の会が出した本三冊を紹介しています。「沖縄オバア列伝」「続・沖縄オバア列伝・オバアの喝(カーツ)」「沖縄オバア列伝番外編・オジイの逆襲」

その中に「年金をもらうと三日間は帰らない、噂では連れ込み宿に入っ

ていった」という豪傑オ



ジイの話などが出ていて、元気を刺激されそうです。

読み返し

てみると、軽く愉快な話題が多いようです。最近の記事は明るさに欠け、陰気くさくて、年寄りじみた内容になっています。多少は世相の反映もあるかもしれませんが、「食べるのには困らねど」と言い切れないような気もします。保守反動の動き、時代の閉塞感などもあるかしら。

障害者施設でのむごたらしい事件。容疑者の不気味なニヤツキ顔。あれほど不吉で禍々しい顔はあまり見られません。ただ政治家の中に似たような表情が見られるのが気になります。

障害を持った人について創刊号で書いています。『昔、「障害者に光を」と



いうスローガンを「障害者を光に」と言い換えよう、という声が上がりました。素晴らしい転換です。障害者も健常者も同じ太陽のもとで暮らしていこう、というのです。そしてバリアフリーの考えが一般化してきました。』

今ではユニバーサルデザイン、と小学生が言います。そういう中での今回の殺人事件。ナチスドイツの政策の影響もありそう。戦争前へ逆行する風潮でしょうか。

それでも暗い世相に負けないように、愉快で明るい話題を提供しなければいけません。

枝豆カレー



「暑い時のカレー

もいいですね。枝豆入りカレーですか？お客さん、ご自分で料理されるの？食べてみたいわ」

十数年前に勤めを辞めて、青葉マークの主夫の私が、いちばん苦手なのがスーパーでの買い物でした。今でもレジに並ぶ行列は嫌です。三人ぐら

いの行列だと、やめてほかの店に行きます。家人は「四、五人は行列とはいいません」とのたまいます。

三年、四年とするうちに、なんとか品物の値段をみるゆとりが出て、家計の塩梅を考慮できるようになりました。

同じ店で何回か買



い物をするうちに、レジの女性とも馴染みになります。たいていのレジでは「釣銭」お確かめください。有り難うございました。またご利用くださいませ」とマニュアルにあるのだろう、決まり文句で、はい次のお客へ、となります。

先日は、一円のお釣りを「お確かめください」と言われて少し驚きました。確かめないと一円を確認できないほど老練してるように見えるのかなと。まあ、先日は電車で座席をゆずってくれた女子高生もいたしな、無理ないかと納得しました。

レジで普通の人間の会話は有りません。

ところが、最近ふつうの世間話が通用するレジが出てきました。私の買い物かごの中に、枝豆とカレーのルーがあるのを見て、レジに打ち込みながら女性から出た言葉です。

思わず「えー、カレーと枝豆も合うかもね」と私も調子を合わせました。

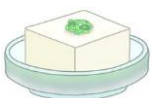
猛々しい暑さ

暑さが続きます。冷奴、冷や麦、冷や酒、冷えたビールが恋しい。

奴（やっこ）とは昔、武家に仕えた下僕のこと。彼らの着た袴纏には四角い柄がついていたので、正方形に切る豆腐を奴と言うようになったそうです。「やっこさん、どちらゆくー」という端唄ですか、俗謡がありました。

冷奴隣に灯先んじて

石田波郷



ちと夕方、まだ早いけど、電気付けて冷奴でイッパイやりますか。

◆7月1日 七夕飾り

短冊に願いを書きました。「入歯が治ったら長生きして美味しいものをたくさん食べたい」、「ずっとかわいく、きれいになりたい」、「百まで生きたい」。でもほとんどの方の短冊には「いつまでも元気になりたい」って書いてありました。「ずっと元気でここらぶに来たい」と書いたMさん、ずっとずっと来てくださいね。

◆7月2日 再来年お願いね

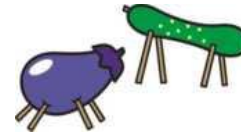
「家族に、90歳のお祝いをしてもらった」「私は食べに行ったよ。一人45,000円だった」。みんな自慢げに話をする。そんな中、「私は、再来年だよ。家に帰っても一人きりだで、ここ倶楽部でやってもらうだやあ。」という人がいた。やりますやります！
結婚式でも、お葬式でも^^。心あったまるお祝いをさせてもらいますよお。



◆7月6日 紫蘇巻き作り

特製味噌を青じそで巻いて紫蘇巻き作り。ホットプレートへ油をひいて裏表焼きしました。紫蘇のいい香りが部屋中広がり、匂いだけでご飯が食べられそう。お昼に

いただきました。男性のAさん、ごはんお替りされていまし



◆7月13日 おしよろ様

お盆の入りでおしよろ様作り。北海道出身のTさん、お茄子を前に「北海道じゃあこんなの作らないよ」って興味なさそうでしたが、お茄子に足がつき、角が付き始めると「わーいいじゃん」と参加。しっぽがつき、目がつき、蔵がつくと完成。Tさん「嬉しい。家へ帰ったら仏壇に供えてお父さんをお迎えしよう」と

◆7月15日 ここ倶楽部エステ

今日お誕生日の方に、マッサージ&お化粧をしてあげました。「久しぶりにお化粧をするからうれしいわ。シミがたくさんあるでしょ」と話すものの笑顔。髪の毛もセットして皆さんの前にお披露目。「わあ、誰かと思った」「いつもこうしたらいいのに」と絶賛！みなさんも、ここのエステはいかがですか？



◆7月21日 ジージーバーバーの蝉

暑い日が続き、蝉の鳴き声がにぎやか。朝から蝉の声がうるさい、と話を

しているとKさんとMさんが「最近はおぶら蝉がいないんだって」「その代わりにクマ蝉が多いらしいよ。ジージーってなくやつ」「そうだね。あれ聞くと、よけい暑くなる」「ジージーはうるさいでね。バーバーって鳴く蝉ならおとなしいのに」。なんだかわかるようで？の会話。思わず座布団一枚！



◆7月27日 ゴーヤです

「おれはゴーヤなんか嫌いだあ」私がちょっとよそを向いて、次にその人のお皿を見たら、豆腐と卵と肉しか残ってない。その人の隣の人の器に、山盛りのゴーヤが！移したなあ～



◆7月27日 ^{から}絡み織

ご主人と二人で織屋さんをやっていたKさん、スタッフの洋服をじっと見つめ「あっ、これ絡み織だ」ってうれしそうに、おっしゃいました。Kさんの工場では特殊織をやっていたそうで、スタッフの洋服の生地は変わった織り方の涼しそうなレースの生地です。Kさん、きっとご主人と一生懸命お仕事していた時の事を思い出していたんですね。